

令和4年度 波佐見町立波佐見中学校 自己評価書

校訓	己に厳しく 人に優しく
教育方針	憲法・教育基本法の精神並びに長崎県・波佐見町の教育方針に則り、家庭・地域との連携を密にし、郷土及び国家社会の担い手としての責任を自覚し、豊かな心と創造力、高い知性とたくましい身体を持ち、変化の激しい時代を生き抜く力を持ち、自主・自立の精神に満ちた実践力のある生徒の育成に努める。
学校教育目標	学びを生かし、よりよい未来を創造する生徒の育成
本年度の重点努力目標	1 志を立て、確かな学力を持つ生徒の育成 2 誠意、感謝、奉仕の心を持つ生徒の育成 3 耐性を育み、たくましく生き抜く力を持つ生徒

【評価基準】 4：達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

評価項目 (評価指標)	具体的方策・手立て	評価	その根拠	考察・分析及び改善策
校訓・ 学校教育目標	・ 校訓や学校教育目標を達成させるため、授業や学校行事などを適切に実施する。	3	関連する項目のアンケートの肯定的回答が保護者では項目2を除いて80%を超え、生徒では全項目で80%以上である。また、90%を超えている項目や昨年度より増加した項目も多い。しかし、保護者の項目2は1学期より減少しており、学習に対する努力は課題であるとする。	コロナ対策により保護者が来校する機会が減少した。また、家庭学習をしている時間よりメディアを扱う時間の方が多くなっているようであり、生徒と保護者の意識の差が大きいことも考えられる。保護者と連携した取組や、eライブラリの活用の推進をしていく必要がある。
人間尊重の精神	・ 人権教育を推進し、人としての尊厳を重んじる教育を実践する。 ・ いじめのない学校・学級づくりに努める。	3	関連する項目のアンケートの肯定的回答は生徒が90%を超えており、保護者も85%を超えている。しかし、生徒の項目7が1学期より2%減少しており、まだ十分とは言えないと考える。	道徳科で重点的に取り組んだり、人権集会や講演会などを実施したり、いじめに関する講話を行ったりすることで、人権に対する意識を高めることができたと考える。今後は、1年を通して、生徒自身がお互いを認め合う活動等を取り入れていきたい。
確かな学力の育成	・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、校内研究を通して授業改善に取り組む。	3	授業改善に向けた研究授業を実施したり、ICT機器の活用のための研修を行ったりし、授業改善が進んでいる。また、関連する項目のアンケートの肯定的回答がほとんどの項目で90%を超えており、昨年度より増加している。しかし、家庭学習に関しては課題として残っている。	項目9が1学期より減少しており、授業改善は今後も取り組んでいく必要がある。学習内容の定着のためには、家庭学習の充実が今後の課題である。eライブラリの活用や平日、週末の課題を充実させていきたい。
生徒指導の充実	・ 学びを支える生徒指導を充実する。 ・ 自己肯定感を高め、人の痛みがわかる教育を推進する。	3	関連する項目のアンケートの肯定的回答は、ほぼ同等である教育相談を除いて昨年度より大幅に増加している。しかし、生徒の項目15は1学期より減少している。教育相談と望ましい人間関係づくりに課題が残る。	客観的に生徒を理解し、適切な支援を充実するために「学校楽しいーと」を効果的に活用する。併せて、観察等による生徒理解や情報共有も充実し、適切な支援を行う。教育相談については、生徒との二者面談の実施など、実施方法を検討する。
保護者、地域との連携	・ 教材の開発や授業に地域の人材など外部人材を活用する。 ・ 学校だよりや学級通信、安心メール、ホームページ、各種会合等を活用し、保護者へ学校の様子や必要な情報を提供する。	4	1年生の作陶体験を中心に各学年において外部講師等を活用した学習が実施できた。保護者の項目20の肯定的回答が昨年度より5%増加している。	学校運営協議会の助言をいただきながら総合的な学習の時間の見直しができつつある。引き続き、地域との連携を進めながら外部人材の活用を推進していきたい。情報発信についてはICT等も活用しながら保護者等に届くものになるよう工夫していきたい。

令和4年度 学校評価アンケート集計結果

評価項目	対象	質問内容	本年度		昨年度	
			2学期	1学期	2学期	1学期
校訓 己に厳しく 人に優しく	1 夢・憧れ・志	生徒	80	80	83	79
		保護者	83	78	82	82
	2 学力を磨く	生徒	86	89	86	86
		保護者	66	71	62	67
	3 困難に打ち克つ	生徒	93	94	91	91
		保護者	81	85	78	79
	4 命について	生徒	99	97	96	98
		保護者	98	97	97	98
	5 認め合い・助け合い	生徒	98	96	94	93
		保護者	99	99	98	99
	6 誰かのために	生徒	93	91	89	92
		保護者	93	85	88	85
人間 尊重の 精神	7 人権尊重の教育	生徒	93	95	94	94
		保護者	89	87	85	93
	8 いじめのない学校	生徒	97	95	94	95
		保護者	85	83	77	89
学力 向上	9 わかる授業	生徒	93	96	91	94
		保護者	91	98	75	93
	10 めあてと振り返り	生徒	96	96	93	96
		保護者	96	95	80	93
	11 考えを深める	生徒	98	98	93	95
		保護者	95	100	89	95
	12 宿題と家庭学習	生徒	92	92	90	92
		保護者	80	75	77	88
13 ICTの活用	生徒	90	88	91	88	
	保護者	90	94	82	88	
生徒 指導	14 正しく指導	生徒	99	98	95	97
		保護者	93	93	82	93
	15 好ましい人間関係	生徒	92	94	90	88
		保護者	96	93	90	93
	16 教育相談	生徒	76	80	76	81
		保護者	88	85	87	93
健康・ 安全	17 部活動	生徒	77 ※92	92	90	92
		保護者	95	96	92	95
	18 環境安全整備	生徒	93	94	89	89
		保護者	95	91	91	94
開 か れ た 学 校	19 地域との連携	生徒	83	81	-	-
		保護者	90	85	-	-
	20 教育方針の理解 家庭地域への連絡	生徒	90	93	-	-
		保護者	92	93	87	87
信 頼	21 学校への信頼	生徒	85	90	85	85
		保護者	89	85	83	83

No.17生徒の下段(※92%)は、2学期に一部を除いて部活動を行っていない3年生を除いた1・2年生の肯定的回答率である。